

# 交通・観光分野における取組について

---

北海道運輸局  
令和3年12月2日

○ 事業用自動車における電動車の集中的導入支援

非 国費 1,042 百万円

事業用自動車における電動車（ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車）の普及を促進するため、普及段階と車両価格に応じて購入補助を実施。

○ 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

非 国費 9,988 百万円

宿泊事業者が行うサービス提供体制の強化、交通事業者等が行うキャッシュレス決済対応、バリアフリー化、観光列車の導入等、観光人材のインバウンド対応能力の向上、ハイブリッドMICEの開催促進に向けた取組等を支援。

○ 海事、港湾、空港、鉄道等の分野におけるカーボンニュートラルの推進

公 国費 10,815 百万円 非 国費 647 百万円 財政投融资 22,100 百万円

2030年度の温室効果ガスを2013年度から46%削減する目標等を踏まえ、ガス燃料船の安定的な供給体制整備や、洋上風力発電の基地港湾の整備等によるカーボンニュートラルポートの形成、空港における航空灯火のLED化、鉄道車両におけるバイオディーゼル燃料の導入の促進、道路インフラの省エネ化等を実施。

○ 観光DX推進緊急対策事業

非 国費 219 百万円

地方公共団体・DMO、地域の観光事業者、先進技術を保有する企業等が一体となって、デジタル技術を活用し、観光地の混雑回避や移動円滑化、観光客の周遊の促進、再来訪の促進など、観光地経営の改善を図るための取組等を支援。

○ 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化

国費 100,028 百万円（既存予算の活用）

地域一体となった観光地再生・高付加価値化に向けて、観光地の中核となる宿泊施設の改修や廃屋の撤去等を重点的・集中的に支援。

## 有識者による検証概要

非動力・・・原動機に熱機関を使用していない人力や電動によるものを指す。

- 道東地域において、全ての移動を**トレッキング・サイクリング・カヌー**などの**非動力アクティビティ**により、**環境への負荷を最低限に抑えつつ**チャレンジングなコンテンツを体験するアドベンチャートラベルモデルルートを設定し、その検証ツアーを実施。
- 屈斜路カルデラを境に自然や文化が異なる「オホーツク海側地域」と「太平洋側地域」について、「水の循環」をテーマとして気候や植生、人々の暮らしを学んだ。

日程	実施内容	検証ルート	検証ツアーに参加した有識者
10/28 (木)	① <b>サイクリング</b> (網走駅～美幌峠) 弟子屈 泊		<p><b>コード合同会社 代表</b> <b>シャノン・ウォーカー氏</b> (群馬県在住)</p> <p>シドニーでアジア研究の学士号を取得した後、ニュージーランド政府観光局東京オフィスに入局。2019年にコード合同会社を立ち上げ、海外の富裕層向けにATの企画旅行などを提供。</p>
10/29 (金)	② <b>トレッキング</b> (美幌峠～ハイランド小清水) 弟子屈 泊		
10/30 (土)	③ <b>サイクリング</b> ④ <b>ハイキング</b> ⑤ <b>サイクリング</b> ⑥ <b>カヌー</b> ⑦ <b>サイクリング</b> (ハイランド小清水～瀬文平橋) 弟子屈 泊		<p><b>Explore Hakone 代表</b> <b>金子 森氏</b> (神奈川県在住)</p> <p>米国・南カリフォルニア大学ビジネス学部卒業。2015年より訪日外国人専門のガイド事業・<b>Explore Hakone</b>を開始。これまでに世界25か国、3,000人以上のガイド実績がある。</p>
10/31 (日)	⑧ <b>カヌー</b> (瀬文平橋～塘路湖) 弟子屈 泊		
11/1 (月)	⑨ <b>カヌー</b> ⑩ <b>サイクリング</b> (塘路湖～釧路駅)		

# 空港間二次交通ネットワーク構築に係る実証調査

北海道内7空港一括民間委託を契機とし、複数の空港を抱える道東エリアにおいて、公共交通ネットワークを一体的にWEB情報発信・手配を可能とする調査・実証を行い、コロナ後も見据え、非接触キャッシュレス決済対応を行いつつ、旅行者の空港間周遊の促進、観光需要の取込みによる持続可能な公共交通網の構築に関するモデルとする。

## 調査概要

- ① 空港間二次交通を一つのネットワークとして旅行者へ訴求・サービス提供するための、複数バス事業者によるWEB予約決済プラットフォーム構築の検討・実証
- ② WEB予約決済プラットフォームについて二次交通事業者、航空・空港・観光関係者等による連携したプロモーションの検討・実証
- ③ 上記の検討・実証を行うための関係者によるWGの開催

## WEB予約決済プラットフォームのイメージ

- ・スマートフォン上で複数バス路線等についてまとめてオンライン予約・決済が可能
- ・出発・目的地や、空港等から路線の検索・予約が可能
- ・空港からのおすすめモデルコース等の表示
- ・利用者は、スマートフォンでチケットレス乗車が可能

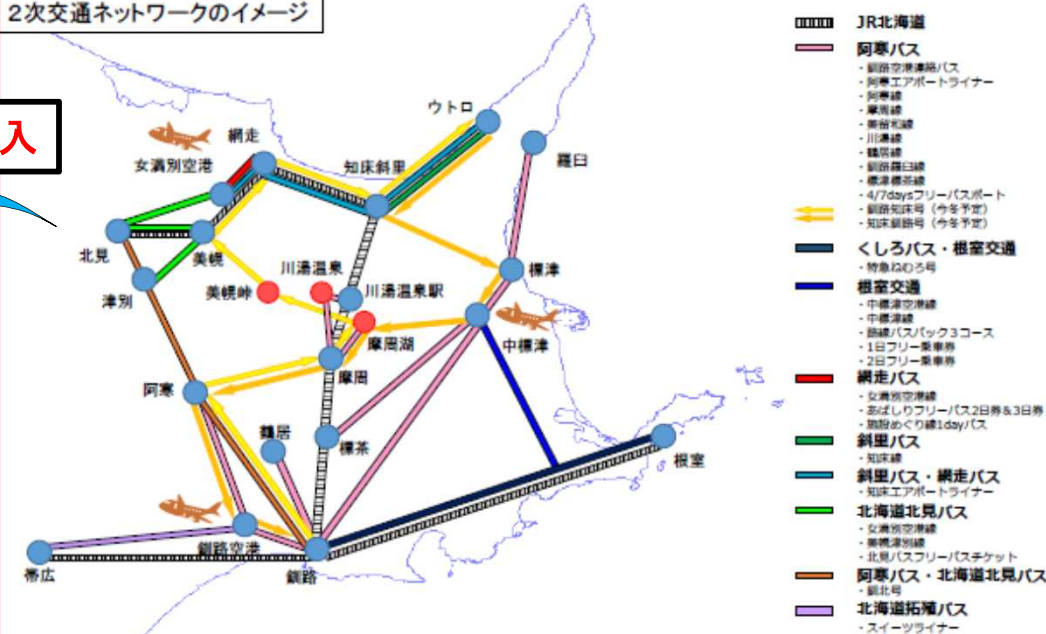
※コピーや画像・コンテンツ内容はイメージ含む



## 2次交通ネットワーク

- ・バス事業者7社のバス路線を一体的なネットワークとして旅行者に訴求
- ・路線バス(生活補助路線含む)、空港連絡バス、都市間バスなど、乗合バスサービスを中心に、道東エリア全域をカバー
- ・鉄道・地域内交通サービスとの情報連携等も検討

## 2次交通ネットワークのイメージ



## WG構成員

- ・ くしろバス(株)
- ・ 阿寒バス(株)
- ・ 根室交通(株)
- ・ 北海道北見バス(株)
- ・ 網走バス(株)
- ・ 斜里バス(株)
- ・ 北海道拓殖バス(株)
- ・ 北海道旅客鉄道(株)
- ・ 全日本空輸(株)
- ・ 日本航空(株)
- ・ (株)AIR DO
- ・ Peach Aviation(株)
- ・ 北海道エアポート(株)
- ・ 中標津空港ビル(株)
- ・ (一社)ひがし北海道自然美への道DMO
- ・ 北海道
- ・ 北海道運輸局
- ・ WILLER(株)

## 今後のスケジュール(案)

- ・ 令和3年12月 WEB予約決済プラットフォームリリース  
予約販売・開始
- ・ 令和3年12月中旬 プロモーション開始
- ・ 令和4年1月から 実証運行

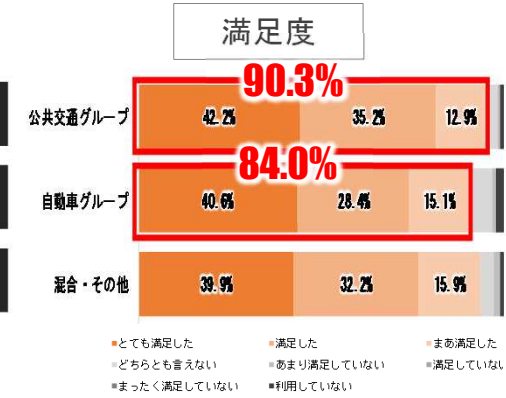
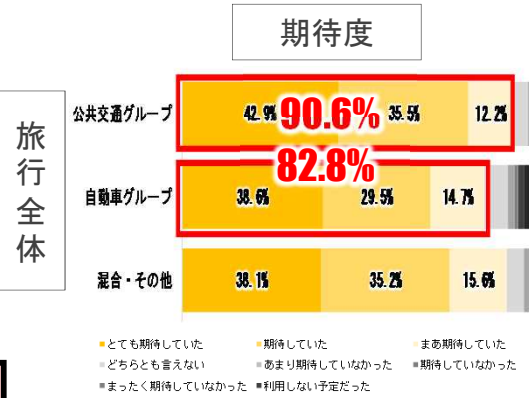
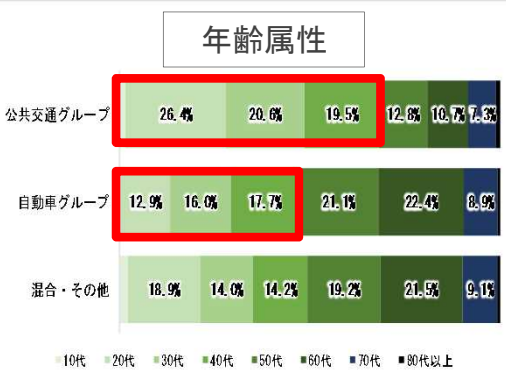
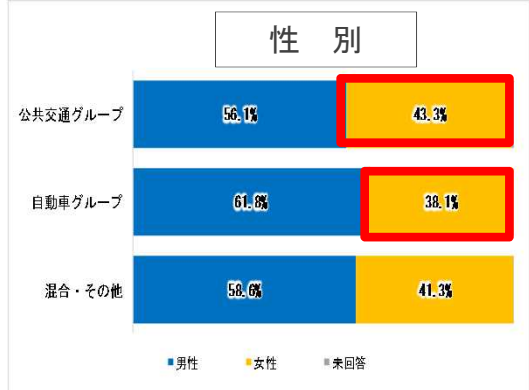
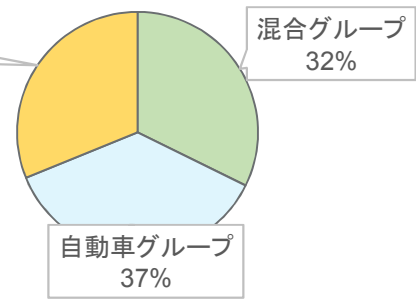
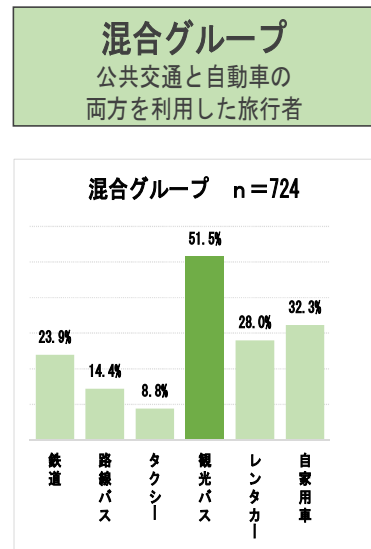
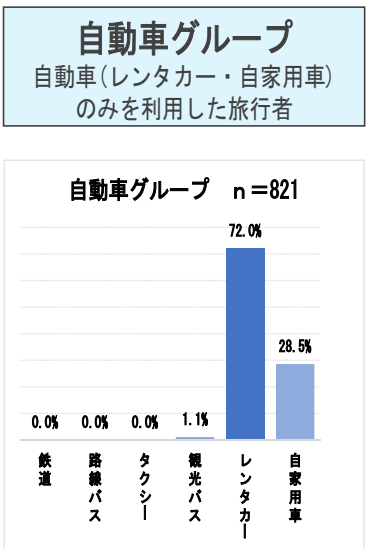
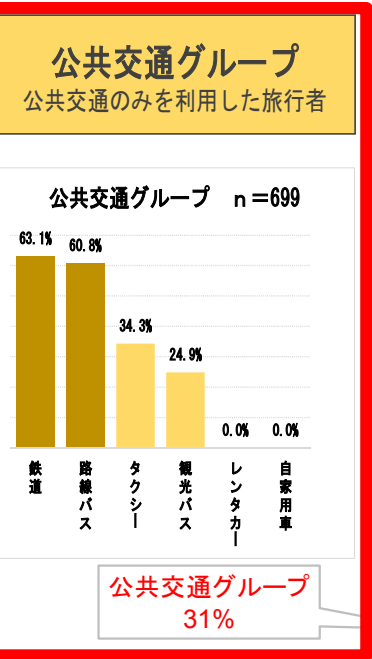
調査の趣旨・目的

道内7空港の一括民間委託を契機として、空港間周遊を含む空港二次交通の現状や課題について、道東エリアを対象に分析を行った

※道東エリア...釧路・根室・十勝・オホーツク管内

旅行者行動実態分析\_属性分析

- ✓ 道東訪問客のおよそ3割が、公共交通だけで移動する「公共交通グループ」であった
- ✓ 公共交通グループは、女性や若者が多い傾向も見られた
- ✓ 公共交通グループは、旅行への期待度・満足度ともに高い



✓ 今後、自動車免許の保有率が低いこれらの世代や国内での運転が難しい海外客の道東への呼び込みのためにも公共交通での道東周遊を促進していくことが重要

# 公共交通の利用促進に向けた取組

## 北海道北見バス(株) 「サイクルステーション」



- 北見バスターミナル横に、自転車レンタルを行うサイクルステーションを設立し、**バスに自転車を積み込む輸送サービス「バス&ライド」**を実施する（一乗車500円）。
- サイクリングのモデルコースも示し、バスに自転車を積みめば、**ショートカットや片道ライド**ができる。

○観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」を活用。

## 十勝バス(株) 「マルシェ機能付き路線バス」



- 交通結節点である帯広駅から郊外の住宅地である大空団地までの区間を対象に、車両改造を行い**マルシェ機能を付与した路線バス**を運行。
- 徒歩圏に住民の生活の質を向上するサービスを提供する。

○経済産業省の「地域新MaaS創出推進事業」を活用。

## 網走バス(株) 「AIオンデマンド どこバス」



- NTTドコモと連携し、同社の「**AI運行バスシステム**」を活用した**AIオンデマンド運行**。
- 通勤通学時間を除く昼間の時間帯に、車両5台体制で市内路線バス運行エリアにおいて200カ所以上の停留所を設置し、**スマホから予約可能**なデマンド運行を実施。

○国交省の「新モビリティサービス推進事業」と経済産業省の「事業再構築補助金」を活用。

## 南幌町 「AIオンデマンド あいるーと」



- 南幌町が実施主体となり**自家用有償旅客運送**により運行。
- 未来シェア(株)のSAVSを利用した**AI配車システム**を導入し、運行ルートやバス停は設けず、予約のあった場所（自宅前など）から町内の目的地まで経路を自由に運行。

○バス決済端末「**バスWAON**」を導入し、**電子マネーWAONカード**での支払いと、**現金支払いの併用**。

○国交省の「地域内フィーダー系統補助金」を活用。